

2023年号外
発行所
社民党川越総支部
機関紙部
〒350-1126
埼玉県川越市旭町1-2-48

社会新報

THE SHAKAI SHIMPO

発行責任者：吉田 洋
事務所：電話／Fax
049-243-9564
社民党機関紙

川越版



川越市議会副議長 総務財政常任委員会委員
会派：川越政策フォーラムに所属。
2003年初当選（現在5期目）。
古谷小、東中、城西川越高校卒。
1962年（昭和37年）生まれ（60歳）古谷上在住

いま私たちは激動と変革の時代を生きています。格差や貧困の拡大、ロシアのウクライナ侵攻、気候変動、感染症の蔓延。このようなときに羅針盤となるのは日本国憲法です。しかしその憲法が正に危機にあります。今こそ平和憲法を守り、活かす時だと考えます。いのちと暮らし最優先。軍事費の大幅増ではなく、子育てや教育、福祉の充実を。

私は市議会議員として5期20年間、地域で活動し、農家や中小企業、子育てや福祉の現場で働く方々とともに歩む中から、多くの示唆をいただいております。地域社会が大変な時だからこそ、自治体の役割はますます重要です。これからも子どもたちに安心して平和な未来を引き継ぐため、地域から努力を続けてまいります。

社民党川越総支部は、高橋つよし川越市議会議員に
市政にのぞむ思いと実現を目指す政策を聞きました。

市議会議員

高橋つよし (60歳)

川越の未来へ

平和・人権・自治の中核市・川越へ!

未来の再建・世代を超えて

子育て環境の整備・充実と「学び」の支援

- 子ども医療費の拡充
- 保育の質の向上
- 高齢者の子育て参加支援
- 30人学級の推進
- 給付型奨学金制度の継続・充実



農業の振興・充実

- 川越産農産物を学校給食へ
- 有機農業の推進
- コメ農家への支援
- 地域内食料自給率の向上



安心して暮らせるまちづくり

- 起業支援と企業誘致で「しごと」づくり
- 非正規雇用の処遇改善
- 水害対策の徹底と避難の点検・改善
- 体育館へのエアコン設置

福祉の増進と充実

- 地域包括支援センターの充実
- 福祉と農業の連携で障がい者の社会参加促進
- 福祉の担い手支援
- 住み慣れた場所で住み続けられる介護



地域の課題に取り組みます

- 南古谷駅北口開設と交通網整備
- 古谷保育園と古谷市民センターの建て替え
- 総合運動公園の充実—初雁球場の移転
- 市立東中学校の建て替え検討

ご推薦頂きました：連合埼玉・埼玉県社会保険労務士政治連盟・川越東部工業会・川越バンテアン会・川越市自治会連合会古谷支部